

令和7年度 瀬戸内タウンミーティング意見交換要旨（牛窓町公民館）

令和8年2月28日（土曜日）

午前10時～正午

牛窓町公民館 3階大会議室

参加者：男性 14人、女性 12人 合計 26人

★意見交換要旨★

- ・備前・関西方面への赤穂線も便数が少ないので増便してほしい。増えれば、観光客や転入者の往来・拡大につながり沿線地域が活性化すると思う。
- ・牛窓はガソリンスタンドが少なく、夜の時間帯に営業している店舗がないので不便に思う。
- ・牛窓から西大寺方面への両備バスの料金を下げて利用しやすくしてほしい。

（市長）

民間事業者に関することについてはしっかりと頭に入れながら交渉していきたい。赤穂線は長船駅より後の駅は利用者が少ないと聞いているので、増便は難易度が高い。

ガソリンスタンドの意見については、自分自身、日ごろ実感することがなかったので、貴重な情報をいただきありがたい。

- ・瀬戸内市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の制定について、どういう意図で制定されたのか。賠償金は市の会計に入ってくるお金なのだから、「手取りを増やす」という観点で逆行しているのではないか。

（市長）

職務遂行を委縮させてしまうことを防ぐことが目的。市が賠償責任を負うことになった場合、上限値を設けるといふもの。自分自身が市長に就任する際、個人の破産にもつながりかねない賠償責任を負う市長という仕事を一体誰がやりたいと思うのか、今後立候補者が出なくなるのではないかと思うところがあった。

自分が本当に責任を負える、説明責任を果たせる形で市政運営を行いたいということから、市長が責任を負うのは年収の2倍までを上限にした。仮に1回住民訴訟が起こったとしても、限度額まで請求された場合は、収入なしの状態が発生することになり生活が成り立たない。1倍というのはあまりにも無責任と思うので、現実的に考えて2倍までという上限で規定した。

- ・前島の島民の意見を市長に聞いてもらえる場を作ってほしい。

- ・犬島の航路検証の話があったが、現在運行している前島フェリーを利用することを想定しているか。別のフェリーの事業者か。

- ・前島には美しい自然がある。ぜひ観光資源として PR してほしい。

(市長)

市民の皆さんとの対話の場として現在「市長とセットトーク」を各地域で開催している。島民の皆さんとの対話も、日程や場所の調整をしていただき「市長とセットトーク」へ申し込みいただきたい。皆さんのもとへ出向くのでぜひこちらを活用いただきたい。

航路については、今回は観光需要として採算がとれるかどうかなどの実証実験を行う。市民の日常利用として使うというよりは、観光利用のツアーパッケージとして観光協会が準備を進めている。最終的にどのようなフェリーの運航になるか、現時点で決定していない。まずは需要があるか、採算がとれるか検証を開始する。前島フェリーも候補の対象になると伺っている。

- ・邑久や長船が比較的多く取り上げられ、牛窓は取り残された感じがする。

(市長)

来年度からの取り組みに、牛窓の観光関連の取り組みを盛り込んでいるところ。来てくれる人を増やすために、まずは、市立美術館など既存のインフラを生かして観光を伸ばしていきたい。あわせて、買い物などで回遊しやすいまちにするために、海遊文化館の前などのスペースに民間事業者が出店できる機会や場所づくりを進めていく。

また、県内唯一のヨットハーバーがあることが牛窓の大きな強みだと思っている。県内全域から人が集まるようなヨットスクールを誘致できないかなど、ヨットハーバーを活かす取り組みを進めていきたいと考えている。

- ・古民家を DIY して住み始めたり農業を始めたりする移住者が自由に利用できる、工具・農具が揃った作業場所を作ってはどうか。

- ・高齢などを理由に農業をしなくなった人の田んぼや畑を使って、農業経験者から方法を教わったり手伝ってもらったりしながら、子どもたちと一緒に田植えから収穫までできるような仕組みがあればいいと思う。

- ・市営バスはフェリーへの乗り換えと接続が悪いので、時刻表を見直してほしい。

(市長)

バスの時刻は JR の時刻表に合わせて設計していることもあり、おっしゃる通り船との接続が図られていないところがあると思う。どちらにも合わせるとなると難易度が高いと思うが、いただいた意見を今後は考慮していきたいと思う。

DIY 作業場や田んぼのシェアなど素敵な提案をいただきありがたい。東京に住んでいたときにシェア畑を 1~2 畝ほど借りた経験がある。自分で広い面積の畑を借りるのは管理も大変で勇気もいると思うので、やってみたいという人のためにも、行政でどのよ

うなことができるか念頭に置いて考えていきたい。

- ・前島の美しい自然や景色をもう少し観光資源として活用してほしい
- ・市が民間事業者などと協力してキャンプ場を作ったり、野菜を作ってみたい人のために耕作放棄地を活用できたりできないか。島民も一緒になって取り組めるし、島を訪れる人も増えていいと思う。

(市長)

若い事業者の方が前島で宿泊施設を経営していたり、新規就農で企業が農業とエンターテインメントを組み合わせることを将来的に実現したいという話も聞いたりしたことがあるので、こういった取り組みがさらに広がればいいと思う。

民間事業者の仮説検証が前島に限らず牛窓地区でたくさん行われていると思っており、それで伸びるものを今後、市のプロモーション事業と紐づけてさらに情報発信していくという形で連携ができればいいなと考えている。

行政が出資して施設を建てて運営しようとしても、うまくいかず経営破綻し結果的に税金が無駄に投下されることになると思うので、民間事業者が仮説検証して兆しが出たものについて市がしっかりと情報発信していき、観光誘致につなげていきたいと考えている。

新たにハード面を整備することは、財源の問題で難しい。前島マラソンで美しい景色を楽しめること、牛窓には県内で唯一のヨットハーバーあることなど、既存のものを活かして、スポーツイベントなどをしっかり前島や牛窓に誘致することで、限られた予算内で、たくさんの人を呼び込める取り組みを進めていきたい。

- ・平日、岡山駅方面から帰ってきた部活帰りの学生などが乗る牛窓行きのバスがない。最終のバスに乗れないと親が毎日迎えに行くことになるため大変な思いをしている。
- ・尻海にある「岡山県尻海増殖場」は、現在使われていないので、県の管轄かもしれないが、市として企業を誘致するなど検討できないか。
- ・事業拡大のため市内で土地を探している事業者と関わりがある。広くて利便性のよい土地はほとんど農振区域になっており建物が建てられず、瀬戸内市内に建てられないので、近隣市に出ていくという話を聞く。事業拡大で税収増にもつながる地元企業に離れられるのは残念に思う。市内で頑張ってもらうためにも、地元企業に何か優遇措置があってもいいと思う。

(市長)

貴重な情報をいただきありがたい。夜の便数について何とかできないか常に市役所内で議論している。夜の運行を受託してもらえる事業者がいるかどうか、難易度が高い。夜の便数を増やすことが、市営バスの利用増加につながるのではないかと考えている。前向きに検討したい。

増殖場について貴重な意見をいただきありがたい。県の施設で言うと、旧水産試験場跡地が現在空き施設になっており、この場所について色々な企業に利用しませんかと個人的に発信しているところだが、今のところ具体的な話は出ていない。

農業投資された土地が多数あるので、なかなか企業用地として開発できないという状況があるが、農業を促進し守っていくことも重要。市として企業誘致は進めていきたいので、様々な場所と連携を取りながら進めていきたい。

・タウンミーティングのような集いに参加して意見しても、結局何も届かないと思っている人も一定数いる。今日聞いた内容を地域で周知したいと思うが、地域の各区長が集まった会議など身近な場所に市長に来ていただき、交流や意見交換を行いたい。

・休園している鹿忍の西幼稚園を活用できていないのがもったいない。市と連携して土地の運営ができればいいと思う。

(市長)

公園がない、遊べるスペースがないという意見を多くいただく。幼稚園跡地を活用できないかとは思いますが、管理されていない遊具など再整備する必要があるが、財源の問題や、維持管理のコストも発生するなど様々な論点があり一朝一夕に進まないが、いただいたご意見を念頭に置いて検討していきたい。

今日のようなタウンミーティングの場以外でも、市民の皆さんからいただいた声は市役所に持ち帰って形にできないか検討している。また、「市長とセットトーク」や「市長への手紙」でいただく市民の皆さんからの意見は、担当課に共有し、すぐに進められるところはやろうというスタンスで今は進めている。財源の問題などですぐに進められないこともあるが、意見はすべて拝見しているので、その点は信頼いただきたい。

行政の場とは別に、月に1回は政治活動として市政報告会を各地で行いたいと思っている。各地域に駆けつけるので、ぜひお招きいただきたい。

・「いきいき瀬戸内市」と掲げているが、市職員自体はどうか。いきいきと働いていないのではないか。

(市長)

来年度に向け新たな施策を検討しているので、職員の業務量は増えているかもしれない。市長への新規政策提案制度、市役所内転職制度や副業解禁など、職員個人の意思を尊重した体制を整えつつ、瀬戸内市を前に進めるためにやるべきことは完遂する職場体制で進めていきたいと思っている。